

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	帰署途上における道路の積雪・凍結により水槽付消防自動車が約30m滑りながら蛇行運転をし堰に車両が転落しそうになった事案。
3. 体験した事例の中心的要素	想像以上の圧雪及び凍結路であったが、タイヤチェーンを履かなくとも走行可能と過信したことによって起きた体験。
4. 体験した事例の原因・理由	1. 連日の氷点下で現場付近の路面は圧雪した雪が凍結している状況であった。そこに、当日は雪が降り続き、長時間による消防活動をしたことによって現場周囲の積雪が増え路面が視認しにくい状況であったが、タイヤチェーンを履かなくても大丈夫だろうとった。 2. 現場到着までのルートと帰署までのルートを変更したことによって路面状況が予想できなかった。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成27年1月28日 午後0時頃
2. 発生した当時の天候	雪
3. 発生した活動現場	屋外：現場活動終了後、帰署途上の道路上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	火災帰署途中、[その他:建物火災出場後の帰署途上]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：建物火災出場後の帰署途上
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[28]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[59]歳、勤続年数[41]年、現場経験年数[41] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[24]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	前方の車両がブレーキを踏んだので、車両のブレーキを踏んだ。	
経過2	A	車両が滑り始めたので強くブレーキを踏んだり、サイドブレーキを掛けた。	
経過3	A	それでも停車することが出来ないのでギアをシフトダウンした。	
経過4	A	ギアダウンしたが、車両が横滑りを始めた。	
経過5	A	車両を真っ直ぐに保とうと何度もハンドルを切った。	
経過6	A	ハンドルを切ったが停止できなかったため、急ブレーキを踏んだ。	
経過7	A	車両が運転席側を進行方向に向けたまま滑り続けた。	
経過8	A	車両後方で雪をかき、車両下部に雪を巻き込んだことによってブレーキになった。	
経過9	A	車両が沢の方向に向かい停止した。	
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。 その他：図面内容のとおり

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

凍結した路面に降雪があり、何台もの車両で圧雪したため路面が滑り易くなっていた。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

道路状況

積雪が道路の両脇に30cm程度積もり、長い下り坂であった。

積雪

現況舗装道路 幅員3m程度

※停車できた理由

車両が運転席側を進行方向に向け横滑りしたまま、車両後方で雪をかき、車両下部に雪を巻き込んだことによってブレーキになった。

※滑り始めたところから停車位置まで約30m程度

